

母子生活支援施設整備事業

【 景観審議会資料 】

【目次】

1, 母子生活支援施設整備事業の概要
2, 敷地概要
3, 敷地周辺写真
4, 設計コンセプト・計画のポイント
5, 塀計画
6, 配置図
7, 立面図

青森市健康福祉部子どもしあわせ課

1. 母子生活支援施設整備事業の概要

A. 施設の目的

- ・児童福祉法第38条の規定に基づき、配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその他の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、併せて退所した者について相談その他の援助を行う。

B. 建設地

- ・青森市大字石江字江渡59番地の2（現施設所在地に同じ）
- ・当該施設の入所者について地域の住民から理解が得られていること、青森県女性相談所及び青森県中央児童相談所の近くに位置すること、また、公共交通機関による利便性がよく通勤や通学に都合がよいことによる。

C. 定員

- ・20世帯
- ・改築整備にあたっては、定員が35世帯の現施設が整備された昭和40年代と比較して福祉施策の充実が図られていることや、入所相談の傾向及び国交付金の仕組みを踏まえ、定員を20世帯とすることが適当である。
なお、本市を除く中核市においては、定員を20世帯としている自治体が半数以上であり、20世帯が標準的な規模となっている。

D. 構造等

<建築物>

構造	: RC造2階建	[参考] 現施設	コンクリートブロック造2階建
敷地面積	: 3,143.40㎡		同左
延床面積	: 1,420㎡程度		1,916.98㎡
建築面積	: 770㎡程度		1,170.27㎡

<工作物：塀>

構造	: RC造（一部植栽）
高さ	: 1.35m程度（一部1.60m程度）
延長	: 215m程度

E. 居室構成等

<施設の最低基準に基づく居室>

- ・母子室（20室）、集会室、学習室、面接・相談室、保育室、静養室兼医務室

<その他の居室等>

- ・事務室、宿直室、用品庫、給湯室、職員用トイレ ほか

<外構>

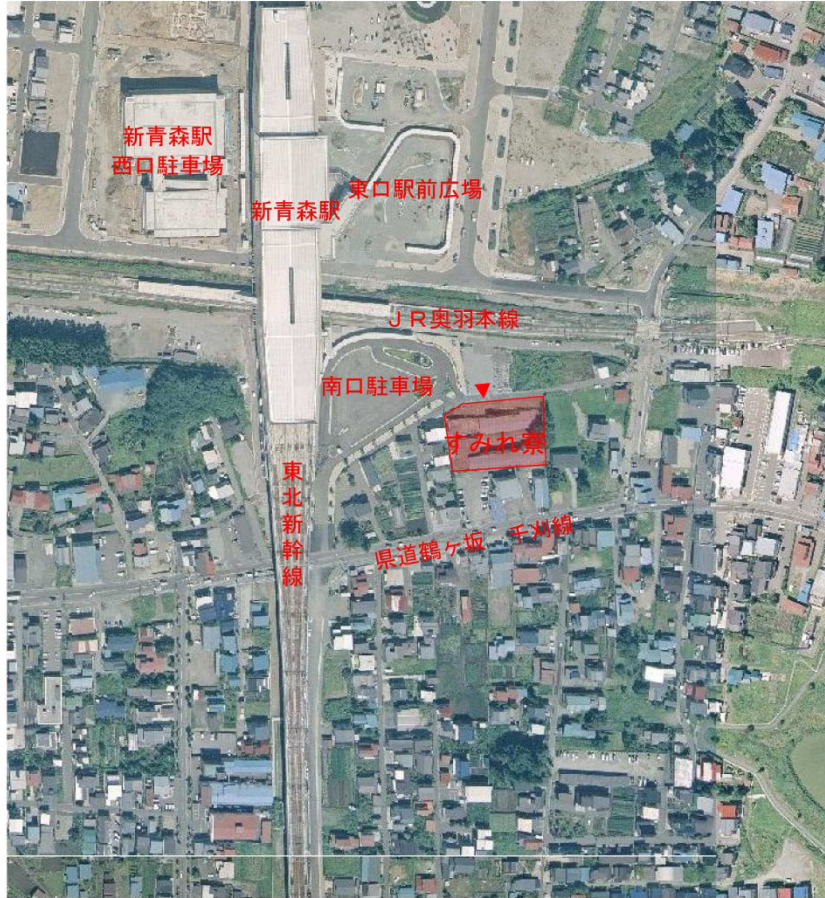
- ・駐車場、自転車置場、園庭、塀（敷地周り）

F. 景観計画

- ・当該建設地は、青森市景観計画においてゆとりと潤いのある快適で魅力的な市街地景観の創出に努めることとする市街地景観（住宅地景観）の地域に位置することから、植栽により敷地内緑化に努めるほか、当該施設の特徴を考慮しながら新幹線駅からの景観を意識して周辺との調和に配慮する。
新青森駅から臨む風景は、八甲田連峰の雄大な自然が広がるが、当該建設地は、その八甲田の風景の下に位置することから、施設の色は、その景観を壊さないよう配慮する。
敷地の周りの塀については、当該施設の特徴を考慮しながら閉鎖的にならないよう高さを抑えて視界を遮らないように配慮する。

2. 敷地概要

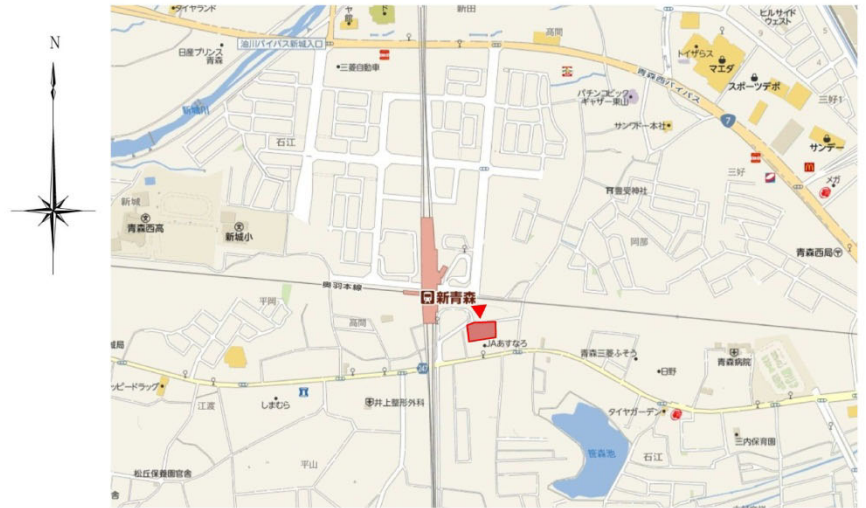
- ・建設場所：青森市大字石江字江渡59番地2
- ・敷地面積：3,143㎡
- ・都市計画区域：都市計画区域内
- ・用途地域：第一種住居地域
- ・防火指定：なし（22条指定区域）
- ・前面道路：4.6m



航空写真

周辺環境

- ・すみれ寮の北西側には新青森駅、駅前広場がある。南北には東北新幹線があり、東西にはJR奥羽本線がある。その他の周辺は住宅が広がっている。
- ・敷地北側に市道、南側には県道がある。

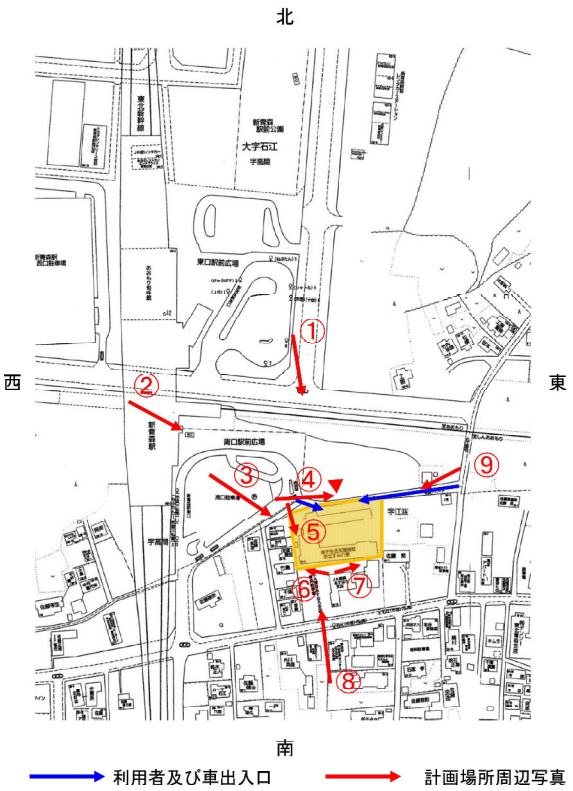


案内図



付近見取図 S=1:6,000

3. 敷地周辺写真



①



② (新青森駅内)



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

4. 設計コンセプト、計画ポイント

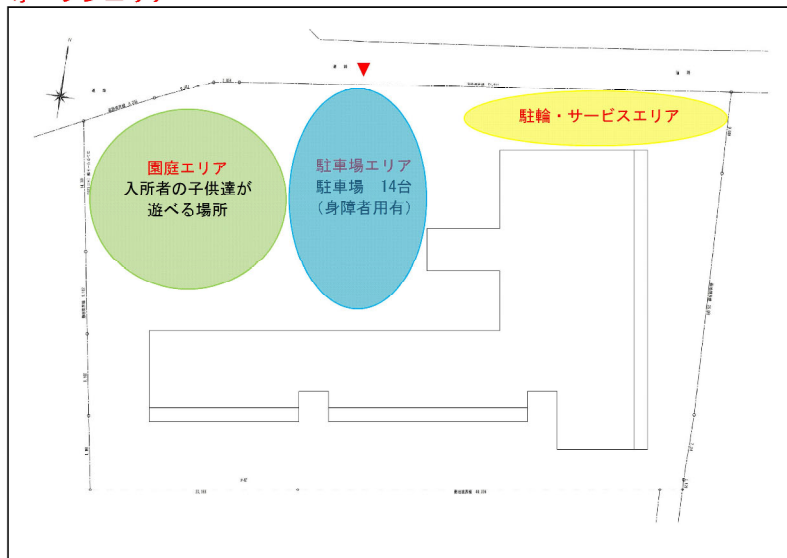
◎設計コンセプト

- ・問題を抱えたこれまでの生活環境から、安定した安らぎのある生活ができるよう自立に向けた生活支援をする施設として、外観は、周囲から目を引くことのない落ち着いた感のあることが望まれるほか、DV加害者等から逃れている入所者を含め、安全かつ安心して生活できる空間であることが望まれる。
当該施設の建設予定地は、近年において新幹線の駅舎が建てられるなど新たに開発された地域に隣接しており、新幹線駅舎を主とする新たな街の景観を構成する一部であると捉える。

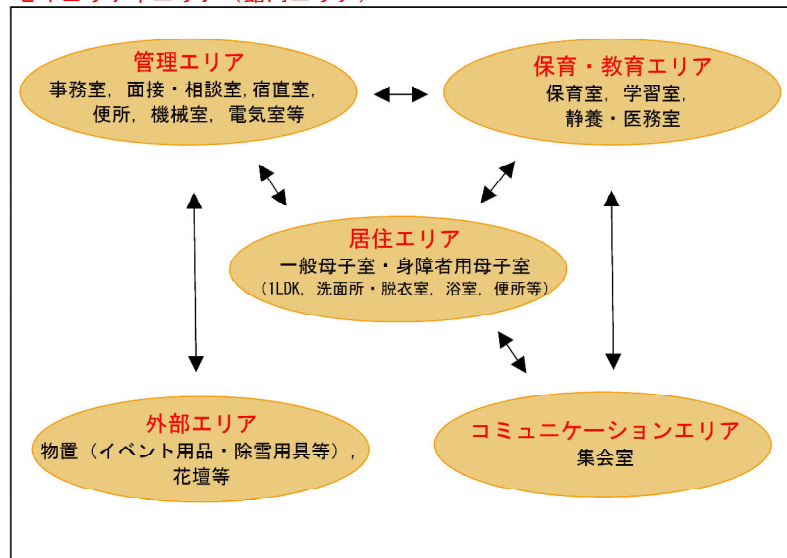
◎計画ポイント

- ・以上のとおり安全性を重視すべき施設であると考え、入所者の心理に悪影響を及ぼすような閉鎖的なものとしなないように、一定程度オープンなエリアと安全性を重視するエリアとに分けた空間構成が有効であると考え、エリア分けを意識した。

オープンエリア



セキュリティエリア（館内エリア）

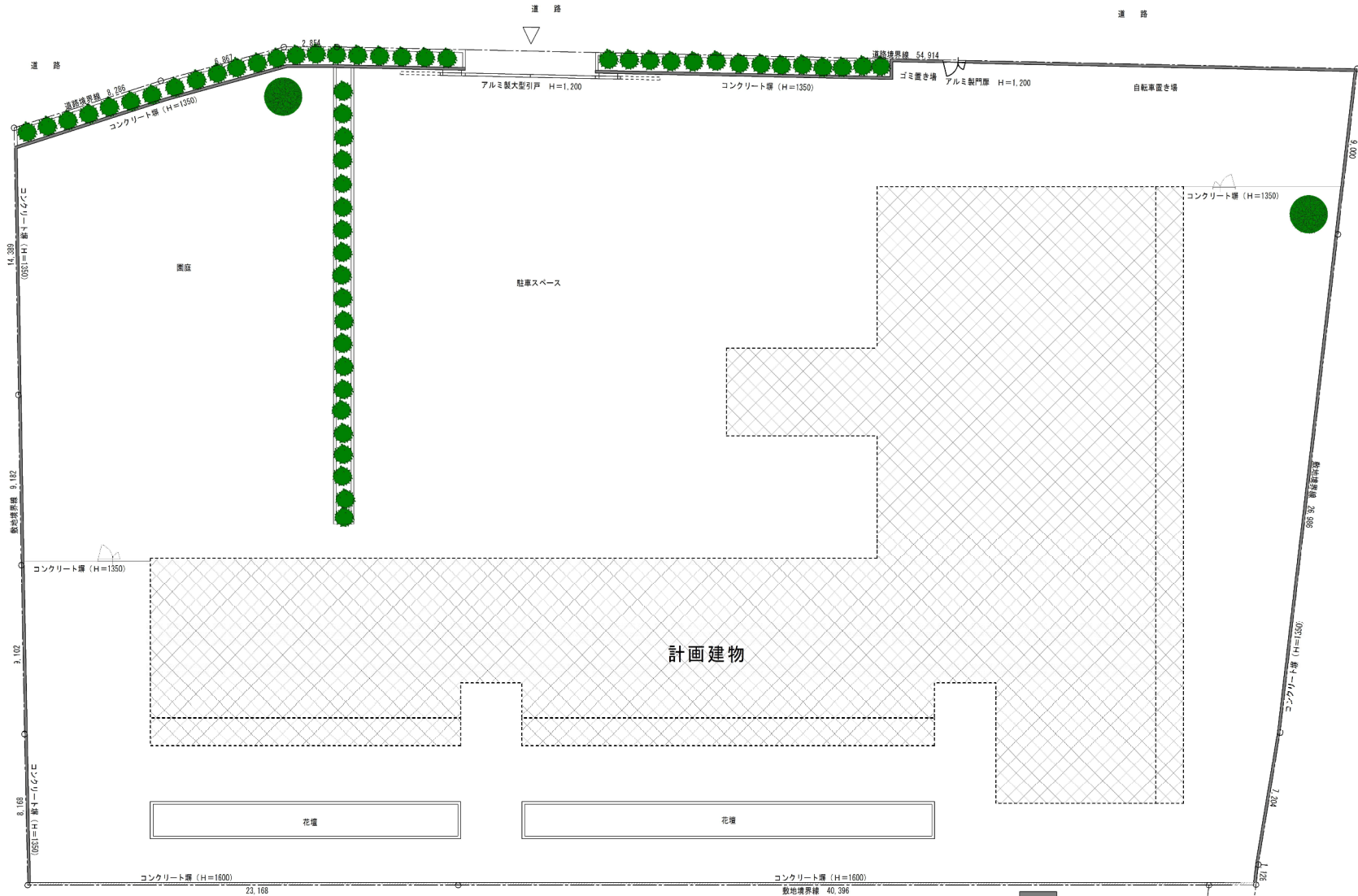


5. 塀計画

◎配置計画

- ・外部侵入を防ぐ安全性を重視し、周囲に塀を設置する。
- ・木塀、ブロック塀、ネットフェンス、鋼製フェンス及びアルミフェンスについては、多積雪地において雪により壊れやすいこと及び、塀の維持管理面を考慮し、コンクリート塀とする。
- ・基本の仕様は、コンクリート打放しで塗装をせずに素地仕上げとし、塀面上部に15cm角のガラスブロックを一定の間隔を保ちながら部分的に埋め込む。
- ・敷地南側は、JA駐車場があり、夜間等の不審者の侵入を防ぐ意味から、 $H=1.6\text{m}$ とする。
- ・敷地北側は、新幹線駅舎からの景観においてこの施設で最も見える面であること、設計の計画ポイントにおけるオープンエリアに面することから、閉鎖的にならないように $H=1.35\text{m}$ とし、景観に配慮して植栽を設ける。
- ・敷地西側は、設計の計画ポイントにおけるオープンエリアに面し、かつ、隣地が民家であることから、住人への配慮として圧迫感を感じさせないよう北側と同様の $H=1.35\text{m}$ とする。
- ・敷地東側は、隣地地盤面が 0.5m 程度低くなっており、それ自体に外部侵入を防ぐ効果の一助となることを考慮して北側と同様の $H=1.35\text{m}$ とする。

6, 配置図

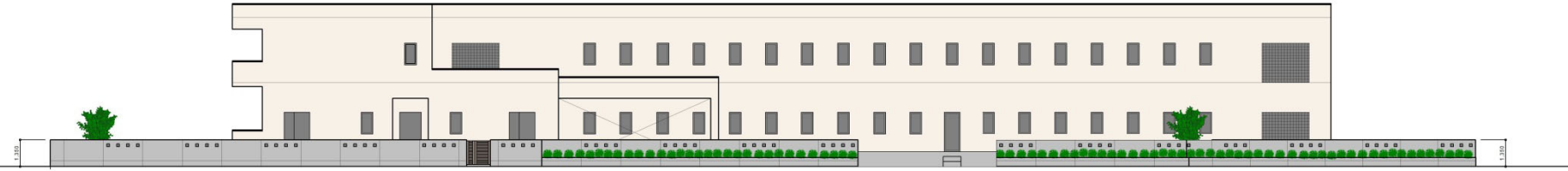


- コンクリート塀 H=1.35m
- ▨ コンクリート塀 H=1.60m

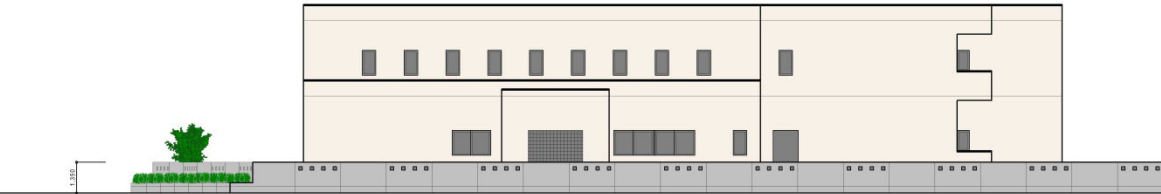
配置図 1/200

 株式会社 たいら山口設計 IMA 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3123	管理 建築士	一般建築士事務所 青森県知事登録A1第699号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第199416号 一般建築士 山口 聡	承認	担当・製図	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	整理NO.	図面NO.
					平成24年7月日	すみれ寮改築工事	配置図	1/200		

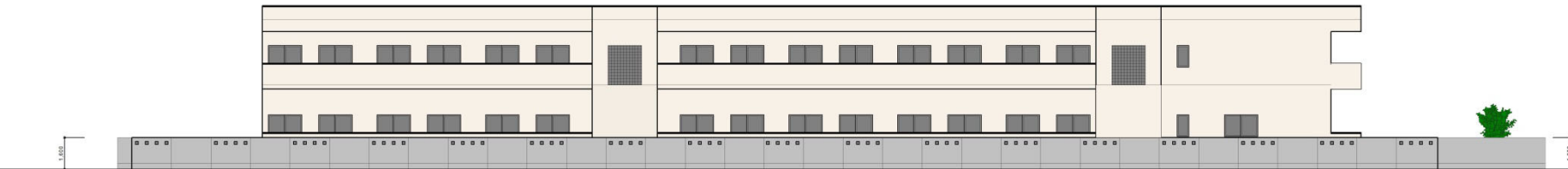
7. 立面図



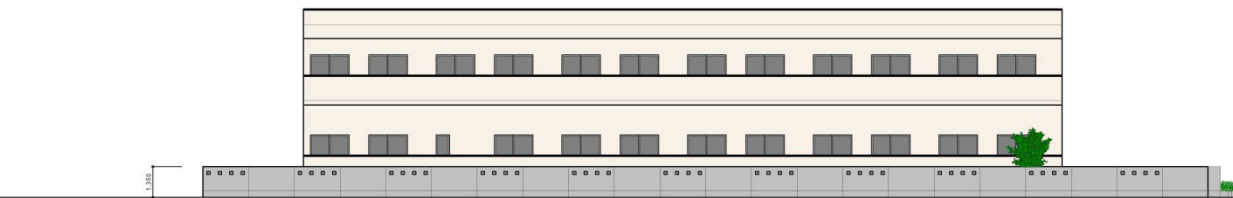
北側立面図 1/200



西側立面図 1/200



南側立面図 1/200



東側立面図 1/200

- ・立面計画
- ・北・東・西面の壁は高さを目標を揃えない1.35mとし、閉塞感を感じさせないものとした。
- ・壁の素材はコンクリートで打放しとすることで、冬期間の雪害による変形対策及びメンテナンスのかりにくいものとした。
- ・壁の高さが南面はH=1.6m、北・東・西面はH=1.35mですが、少しでも高さによる閉塞感を和らげるために上部へガラスブロックを設置。
- ・周辺は住宅ゾーンと駅舎ゾーンがあるため、立面と一体となるようなモダンな色彩とする。

2、5 Y 8、5 / 2

コンクリート打放し

 株式会社 たいら山口設計 IMA 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-0384 FAX 017-742-3103	管理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建築士 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山口 聡	承認 担当・製図	設計年月日 平成24年 7月 日	工事名 すみれ寮改築工事	図面名 立面図	縮尺 1/200	整理NO. A	図面NO. 1

※参考イメージ

